



校訓「共創」

学校教育目標 [いのち輝かせ 未来を創る 港っ子の育成]



港っ子

豊岡市立港小学校

令和3年10月4日

～ 運動会 練習から本番まで 学びがいっぱい ～

9月19日(日)、2年越しの待ちに待った、そして、港小学校の最初の運動会を開催することができました。台風接近のため、当日の実施が危ぶまれたのですが予定通り実施でき本当によかったと思っています。

今年は、緊急事態宣言下のコロナ禍の中でしたが実施いたしました。時間や競技・演技を縮小しての運動会の計画が進みました。そんな運動会で充実した内容になるのだろうかという考えもありました。子どもたちは、確かに普段の運動会の様には多くの仕事はなかったかもしれませんが、このような制限のある状況下でも、実施に向けて日々取組は、多くの学びを得ることができました。

6年生は、最高学年として下級生の意見を吸い上げまとめてくれました。その中で、コミュニケーションの重要さや教えていくことの難しさを学びました。下級生は上級生がまとめやすいように、積極的に意見を出して協力することを心がけてくれました。スローガン「勝ち負け関係なし!」にあるように、勝ち負けよりも、どのようにみんなで力を合わせてまとまるかを重視してくれました。確かに、競技は勝ち負けが重要です。しかし、それよりも大切で貴重な何かを学んでくれた様です。これまでの運動会よりも、このような面がクローズアップされた運動会でした。6年生にとっては小学校最後となる運動会。いつもと異なる運動会は、いつもとは異なる大切なものをつかんだように感じています。

保護者の皆様には、コロナ感染防止から健康維持、数回に及ぶ弁当づくり。そして、制限のある観覧など多くのご支援をいただきまして、誠にありがとうございました。深く感謝申し上げます。



5年『稲刈り体験』

秋の稲刈りシーズンを迎え、8月31日(火)、ふるさと学習・地域の方々に学ぶ内容で、「稲刈り体験」を実施しました。JA港支店長・谷口さんや清水農園代表・清水浩治さんにお世話になり、計画を進めていただきました。当日、黄色く実った稲を前に、鎌の使い方や束ね方を地域の方々から丁寧に教わりました。最初は上手く鎌を使えなくても10分も経てば変わり、どんどん刈り進んで行きました。子どもたちの上達の速さはすごいものです。稲刈りをする事でこれからお米に対する考えや田の稲を見る見方も変わってくるでしょう。地域の産業を学習するいい機会となりました。



